

平成31年2月15日（金）

髄膜炎患者の発生

モンゴル国にお住まいの在留邦人及び旅行者の皆様へ

2月14日（木）、医療・旅行セキュリティサービス会社のインターナショナルSOSは、モンゴルにおいて、今年少なくとも3人の髄膜炎性髄膜炎患者が発生したと報告しました。髄膜炎性髄膜炎は、急死する可能性のある重篤な疾患です。髄膜炎菌は飛沫感染し、感染すると、発熱、激しい頭痛、頸部硬直、羞明（異常なまぶしさを感じる）、嘔吐、錯乱などの症状が出現します。感染したら速やかに抗生物質治療を受けてください。予防接種を受け、衛生状態に注意を払うことが予防策になります。

【アドバイス】

- ・モンゴルに到着する前に、髄膜炎菌性髄膜炎ワクチンの接種を検討してください。
- ・在留邦人の皆様は、現地医療機関でのワクチン接種を検討してください。
- ・手を洗うなど、厳格な衛生管理を徹底してください。
- ・感染している可能性のある人との濃厚接触（キスなど）を避けてください。
- ・症状の有無に注意し、症状が出現したら、速やかに医師の診断を受けてください。

【問い合わせ窓口】

在モンゴル日本国大使館 領事・警備班

EMBASSY OF JAPAN IN MONGOLIA

C. P. O. Box 1011

Elchingiin gudamj 10, Ulaanbaatar 14210, Mongolia

電話：(976) 11-320777 開館時間：9:00-13:00, 14:00-17:45

FAX：(976) 11-313332 メール：consul-section1@ul.mofa.go.jp